

## 研究指導計画書【記載例】

指導教員と学生で相談の上、記載をしてください。(指導計画ですので、主語は教員です。)

前年度から在学している学生については、実施経過・実績報告を記載してください。研究計画に変更等あるときは、指導計画に修正を加えてください。

学生の報告を確認後、教員が記載をしてください。記載後、氏名を自署の上、原本は教員が保管してください。写しを、大学院係に提出ください。

保健学  
学籍番号  
氏名

指導教員

| 研究指導計画  |  | 実施経過・実績報告   |  |
|---------|--|---|--|
| 年次      | 研究指導計画<br>(指導教員が学生に直接研究指導を行う内容・頻度について必ず記載) | 研究実施経過報告<br>(研究指導計画に沿って、進捗状況、実績、成果等を記載)   | 指導教員のコメント<br>(学生の取組み状況、指導内容、指導計画の変更等を記載)   |
| 1<br>年次 | 前期   | 1) 指導教員と相談の上、研究テーマを「●●●●●●●●●●」と設定した。<br>2) 研究内容を具体化するために、関連分野に関する情報検索法を学習し、研究テーマに関する文献を収集した。<br>3) 研究テーマの焦点化が図れず、指導教員の助言により看護領域だけでなく、●●領域の文献を追加した。<br>4) 文献レビューを通して、研究テーマに関する背景や問題の所在が理解でき、研究の最新の情報が把握できた。   | 1) 学生の希望する研究テーマの方向性について承認し、助言を行った。<br>2) 研究テーマに関連する文献収集を促した。<br>3) 看護学研究法演習での検討を通して、先行研究のまとめとテーマの焦点化を指導した。<br>4) 文献レビューがほぼ終了したので、研究テーマの焦点化を図るよう指導した。 |
|         | 後期   | 5) 研究に必要な手法を学習した。<br>6) 指導を受けながら研究計画書を作成した。<br>7) 構想発表会において、研究グループの教員や院生から「●●」について助言を受けた。<br>8) 7)の助言に基づき「●●●●●●●●●●」について文献検討を重ね、研究テーマを「●●●●●●●●●●」と設定し直し、研究計画を修正した。<br>9) 本調査を開始する前段階として、研究計画に基づき、予備調査を開始した。<br>10) ●●学会に参加し、研究意欲が高まった。<br>11) 修士論文の研究発表会に参加し、次年度に至る研究プロセスが具体化でき、プレゼンテーション技法や学位審査の実際について学んだ。 | 5) 焦点化された研究テーマについて研究計画書の作成を指導し、構想発表会を通して、更に修正を加えさせた。<br>6) 予備調査の実施結果を検討し、研究内容に反映させるよう指導した。<br>7) ●●学会に参加を促し、最新レベルの関連研究に触れ、情報交換の機会を持つように指示した。         |

|             |    |  |   |  |
|-------------|----|--|---|--|
| 2<br>年<br>次 | 前期 | <p>12) 予備調査の結果に基づく研究計画修正についての指導助言。</p> <p>13) 上記5) 6) を継続</p> <p>14) 倫理審査委員会審査の申請に関する指導。</p> <p>15) 調査・実験等の実地指導。</p> <p>16) 調査・実験等データの解析と解釈に関する指導。</p> <p>17) 研究結果のまとめ方と考察，プレゼンテーションについての指導。</p> <p>18) 関連学会・研究会等で成果を発表させ，他研究者との討論を通して，見識と技量を磨かせる。</p> <p>19) TA として教育・研究に参画させ，当該分野の理解と技能を深めさせる。</p> | <p>12) 予備調査の結果分析を通して，研究内容を吟味し，研究計画の修正，確定を行った。</p> <p>13) 倫理委員会に申請し，承認を得た。</p> <p>14) 研究協力機関に協力を依頼し，研究計画書を提示し，説明・同意を得た。</p> <p>15) 研究計画に沿って本調査に着手した。</p> <p>16) これまでの結果を整理し，●●学会で発表した。</p> <p>17) TA として教育・研究に参画し，●●●分野の理解が深まった。</p> | <p>8) 研究計画を具体化し，順調に実施している。</p> <p>9) データの分析方法について，看護統計学演習の授業を再度，聴講するよう助言した。</p> <p>10) これまでの結果を●●研究会で発表するように指示した。</p> <p>11) 結果のまとめ方を指導した。</p> |
|             | 後期 | <p>20) 上記16) 17) を継続実施。</p> <p>21) 論文中間発表会での他者からの意見も参考にし，論文作成の準備と作成に関する具体的な指導。</p> <p>22) 論文の素稿作成。</p> <p>23) 論文最終稿作成。</p> <p>24) 論文投稿に係る具体的指導。</p> <p>25) 学位論文審査に係る具体的な指導。</p>  | <p>18) 論文中間報告会で報告し「●●●●」について助言を受けた。</p> <p>19) 上記18) の助言を参考に，「●●●●」の検討を行った。</p> <p>20) データの整備を進めるとともに，論文の素稿作成に着手した。</p> <p>21) 論文最終稿を作成した。</p>  | <p>12) 修士論文の作成状況を確認し，修正を繰り返すよう指導した。</p> <p>13) 学位論文および関係書類の提出・確認</p>   |

※長期履修者は長期の年次で作成する。また，履修期間の変更（短縮）や休学などの場合はその都度履修計画の変更をして下さい。

※指導教員はこの様式を用いて、学生へ毎年次はじめに研究指導計画を明示して下さい。

※指導教員が学生に直接研究指導を行う内容・頻度の記載例：原則週1回ゼミでの指導，月1回研究の実施経過の報告を求め指導を行う等。

※作成後は指導の記録として各教員において保管して下さい。